

卒業式『夢・未来に向かって』

真新しい中学校の制服に身を包んだ13名の卒業生。この1年間、中川っ子のリーダーとしてがんばってくれた『ひまわり学年』のみなさんが中川小学校を巣立って行きました。熊谷教育長さんをはじめ、多くのご来賓の皆様がおいでくださいました。巣立ちのときを迎えた卒業生の心の高まりは、凜とした歌声と呼びかけに表れ、それに応えるように在校生の思いも重なり、体育館いっぱい39人の声が響き渡りました。「これこそ、中川小学校の卒業式だ。」と感じさせる引き締まった儀式となりました。

卒業生のみなさん、中学校での活躍を応援しています。



卒業おめでとう！

- A. さん
- I. さん
- O. さん
- O. さん
- O. さん
- O. さん
- K. さん
- K. さん
- S. さん
- S. さん
- T. さん
- H. さん
- F. さん



ひまわり学年のみなさんへ 式辞～（抜粋）

ひまわり学年のみなさん、ご卒業おめでとう。

卒業証書をお渡しした今、みなさんが視線をそらすことなく、しっかりと見つめる『まなざし』から、新たな世界へと踏み出していく『決意の強さ』が伝わってきました。今、手にしている卒業証書には、みなさんが中川小学校で学んだこと、培ったことの全てが込められています。

大きなランドセルを背負って入学した日から六年間。できるようになったこと、力を合わせがんばった様々な活動、『楽しかったこと』や『つらかったこと』、笑ったり、時には泣いたりもしながら、十三人の仲間と、そして全校の仲間と過ごした『たくさんの思い出』が詰まっています。

最高学年となったこの一年、みなさんは、中川小学校のリーダーとして、力強く全校を引っ張ってくれました。今年の中川小学校の全校児童三十九人に対し、卒業生のみなさんは十三人、つまり、三人に一人は六年生という一年間。正に、中川小学校で、最も影響力のある学年だったのです。

今年は、二年生と三年生、四年生と五年生が複式学級だったため、一年生と六年生が隣同士の教室になりました。小学校での生活には、時間割・学習時間と休み時間の区別など、保育園とは違うところも多く、「小一ギャップ」などとも言われ、その対応に難しさを感じている学校も、実は少なくありません。しかし、今年の中川小学校では、一年生の隣の教室には六年生がいて、さりげなく声をかけてくれたり、手伝ってくれたり、後押しをしてくれたりしていました。四人の一年生が、中川小学校での生活になじみ、安心して学校生活を送ることができているのは、卒業生のみなさんのこれまでの働きかけによるところが大きいと、今、改めて感じています。

四月の「児童会がんばるぞの会」が発点となって進められた児童会活動では、『元気に仲良く助け合い、スマート、スマイル中川っ子』のテーマの基、運営委員会、学習委員会、健康委員会の三つの委員会とそれらをまとめる代表委員会が、それぞれの活動を通し、『キラリかがやく中川っ子』を目指して取り組んできました。それらの取組が、下級生のみんなにとって、どんな価値をもったものだったのかは、この後の呼びかけの中に、しっかりと表れています。

ところで、中川小学校では、昨年度から『夢カード』に取り組んできました。これは、自分の夢や目標を意識化し、普段の生活につなげるにはどうすればよいかという課題の解決を目指して取り組んでいるものです。みなさんの「夢カード」には、「十二才の今」の夢が書かれています。夢の実現のために「今できること」を考え、毎月の振り返りをしながら取り組んできましたが、それを実現するのは、ずっとずっと先のことです。もしかしたら、途中で「夢」が変わる人がいるかもしれません。でも、それでもいいのです。なぜなら「夢」をもっていれば、人間は前を向いて歩いていくことができるからです。

卒業にあたり、「夢」をもつみなさんを応援するために、江戸時代末期から活躍し、明治大正の時代には、日本資本主義の父と言われた『渋沢栄一さん』の言葉を贈ります。尚、原文を基に分かりやすく表現してみます。

夢をもつ者には、理想がある。
理想がある者には、信念がある。
信念がある者には、計画がある。
計画がある者には、実行がある。
実行がある者には、成果がある。
成果がある者には、幸福がある。
だからこそ、幸福を求める者は、
夢をもっていることが大切なのである。



四月から始まる中学校生活では、きっといろいろな場面で力を試されるとと思います。思い通りにいかないときもあるでしょう。でも、それはある意味で、あたり前のことです。なぜなら、あなたたちがもっている「夢」は、そんなに簡単にはかなえられるものではないからです。大事なことは、勇気を持って自分を試すこと、たとえうまくいなくても、原因を考え何度でも挑戦することです。そして、「夢の実現」に向かって、一步一步確実に歩いていってください。

卒業生のみなさん、なごりはつきませんがお別れの時が来ました。輝く未来へ続く大空に向かい、力強く羽ばたくみなさんの前途をお祝いし、式辞といたします。